

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和4年9月11日（日）午後2時～4時
場 所 ソラガーデン自治会集会所（ソラガーデン自治会）
参加者数 19人



主な意見等

参加者 市内の自転車走行ラインの拡充をお願いします。歩行と自転車が主な交通手段ですが、市内でも青いラインが引いてあるところと引いてないところがあります。拡充する計画はありますか。

市 長 かつて開発された住宅地は、まちづくりのインフラ整備よりも住居が先行して発展・成長してきました。合併以前の上福岡地域も大井地域も同様の状況です。新たに開発された住宅街は整然としていますが、既存の路線はそのような状況にありません。自転車走行エリアを作れるかということも、警察との協議に基づいて実施されます。課題はありますが、何とか反映できるように検討します。

参加者 小・中学校のデジタル教育、オンライン関係の授業などに、ばらつきがあります。例えば、小学校ごとにやっていることと、やっていないことがあり、中学校に上がった際に子ども同士でばらつきが出ています。これからインターネットやデジタルというのは、さらに発展していく分野だと思いますので、小さいときから平等にスキルを統一できるような環境を整えていただきたいと思います。

市 長 できるだけ標準化・平準化し、学校間で格差がないに越したこと

はないと思います。デジタル教材は、先生方でも得意・不得意があるかもしれません。有効に使っていくために、研修や研究会、勉強会をしながら、得意な先生が中心になり、不得手な人たちに指導し、なるべく格差がないようにしています。通常の教材として使う教育は、教育指導要領に基づいて均一に進めていますが、そのツールをより効果的に使うとなると、差が生まれてしまうのかもしれませんが。できるだけばらつきがなく、子どもたちに格差が出ないような教育環境を整えてまいります。

参加者 鶴ヶ丘小学校と三角小学校だと距離的に鶴ヶ丘小学校の方が近いですが、学区変更の可能性はありますか。また、三角小学校までの通学路に、ガードレールが設置されていますが、歩いていても、車で運転していても、危険だと感じる場所があります。そこも含めて、学区変更の可能性はありますか。

市長 後発的に開発が進むと学校がマンモス化してしまうことがあり、この地域は鶴ヶ丘小学校ではなく、三角小学校の学区となっています。他の地域でも学校のすぐ横に住んでいるのに、異なる学校に通っている地域もあり、学校のバランスを保つには必要なこととなっています。ベストな学区を目指していきたいと考えていますが、現状では、近年中に学区を見直すということは、考えておりません。
通学路の問題ですが、4年前のタウンミーティングでは、押しボタン信号の時間を長くしてほしいというご意見があり、それについては、警察との協議により、朝の時間帯の時間を若干延長しました。農作物との兼ね合いもありますが、畑の中に照明を設置するなど、少しでも通学路を通る子どもたちの安全対策を考えていきたいと思っています。

参加者 三角小学校の学区に指定された西鶴ヶ岡に引っ越してきたばかりの方から「なんでこんなに遠いのか。鶴ヶ丘小学校に変更ができないのか。」という意見をいただきましたが、三角小学校がきれいなり、皆さんは少しほっとされたようです。通学路の押しボタン信号は、30年前からお願いしていましたが、設置されたので、皆さんとても良かったと言っていました。

市長 ありがとうございます。お話のありました信号機は、前々から皆

さんのご要望でした。信号機の設置は、2市1町を管轄する東入間警察の管内で、年に1箇所付くかというくらい困難であり、市職員も一生懸命に東入間警察に掛け合い、信号が付きました。

市長になった時に、NTTの社宅の跡地にマンションが建ちましたが、マンションが埋まらず、この地域の開発を凍結されていました。しかしながら、三角小学校の大規模改修を実施したところ、マンションが完売し、開発も始まりました。子どもたちがどこの、どんな学校に行くのかということにこれほど関心があるのかと、身をもって感じました。子ども優先の政策ということで、子どもたちの環境を少しでも良くするため、学校にエアコン設置、耐震補強、大規模改修と順次実施しています。このまちで子どもたちを育てるということを、安全対策とともに考えていきたいと思います。

参加者 市が主導して、回覧板をデジタル化してもらえないでしょうか。毎月、回覧板を回していますが、情報の展開のスピードが遅く、災害などの緊急に連絡をしたいときに、やりにくいと感じています。現在、回覧版の仕組みは色々あり、自治会でも導入できると思いましたが、市が主導でやってもらった方がやりやすいと思います。

また、市役所からの通知が非常に多く、切手も返信用の切手も付いており、一通あたりに200円程度かかっています。デジタルの回覧板で市と会長がつながり、会長から市民がつながると時間も手間もコストもかからなくなるので進めていただきたいと思います。

市長 効果の面を考えると、非常に効率的であるし、金銭的な無駄もなく、済み、色々な効果があると思います。ただし、行政で同時に考えなくてはならないのが、デジタル化した時に対応できない方々を出さないも大事なことです。従来の方法とデジタル化を併用するなどの考え方もあると思いますが、できる家とできない家があるなどのさまざまな課題が出てきます。クーポン券もデジタル化して電子マネーで実施する提案もありましたが、対応できない方がいるため、紙ベースという形になりました。効果が絶大なものがあるのは重々わかりますが、DXの移行期をどうしていくのかということが重要だと感じています。できることはデジタル化していきたいので、対応策も含めて考えながら進めていきたいと思います。

回覧の中身は色々なものがあり、極力同じ時期になるように各課へお願いをしていますが、どうしてもばらつきが出てしまい、会長

へさまざまな種類の回覧物が届いてしまっていますので、改善できるように努めていきます。

参加者 自治組織の補助金申請などの申請書をペーパーレス化はできないのでしょうか。申請書の提出のために会社を休まなければならない、メールで提出できれば記録も残ります。スピーディーになると思いますので、検討していただきたいと思います。

市長 改善できる方法を考えたいと思います。個人個人の申請書は本人や委任状が必要になるものもありますが、特に法的に位置付けられていない団体等が申請をする際、2回行かなければならないのが1回で済むとか、そこまでの手続きは必要なのか、改善できる方法はないか等を探っていきたいと思います。

参加者 美化委員のゴミ捨てに関する申請書の提出を支所でできるようにしてもらえないでしょうか。支所であれば自転車や歩いて行くことができますが、市役所本庁舎に行くには線路を越えなければならず、時間もかかります。マイナンバーの申請などは支所で実施していますが、自治組織に関する手続きは本庁舎でしか実施されていません。受付や転送するだけでも構わないので、支所で行えないでしょうか。

市長 合併した街だからといって、本庁でしか手続きができないということは、無くそうと力を入れてきました。支所から取り次いでもらえるという形ができるのかも含めて検討します。支所は、皆さんの窓口的な部署というのはありますが、専門的な部署は、本庁にあります。それを支所でもできるようにすれば、皆さんの利便性も上がるので、課題を整理しなければいけない部分もありますが、検討していきたいと思います。

参加者 この辺の住宅街に中型以上のトラックが入ってきます。ここからローソンに向かっていく道路や関越自動車道あたりまでいくと、急に歩道がなくなり車道が狭くなります。極端な話ですが、例えばトラックを迂回させるなどの規制や一方通行化して余裕を持たせれば、その分だけ歩道や自転車専用道を設けることができるのではないでしょうか。難しいのは分かりますが、道路行政の見直しをして

いただければと思います。

市 長 トラックの進入禁止は難しいと思われます。一方通行にすれば2車線にならないので、今の幅員の中で車両の通行帯と歩道を作れる可能性はありますが、一般的に一方通行にすると、すれ違わなくなるので交通量が増え、速度も上がると言われています。また、一方通行にするには沿道の方々の承諾を得ないといけません。ご指摘の道路は、何とかしたい思いがありますので、貴重なご意見として承ります。

参加者 ソラガーデンの入り口は2箇所ありますが、抜け道に使われてしまい、スピードも出て危ないので、防ぐことはできないでしょうか。

市 長 看板を設置するとしても、公道なので「通ってはいけません」とは書けません。「速度を緩めてください」等の看板を設置することはできます。自治会によっては、自分たちで看板を作って設置しているところもあります。「大型車の通行はご遠慮ください」等の看板設置はできますが、一般の車の制限をかけるのはできないのが現状です。

参加者 分館は近い将来なくなるのでしょうか。

市 長 当面はなくしません。公民館というのは、社会教育法という法律に基づいて設置された館であり、ふじみ野市では公民館ではなく文化施設という位置付けにします。従来実施していた公民館的な活動は、名前が変わってもこれまで以上に実施します。公民館や分館は地域の集会施設的な要素が強く、昔は分館で葬式をやっていたことや、地域で防犯パトロールや子どもたちの見守りなどを行っている方々が慰労会で缶ビールを飲むことなどもありましたが、本来社会教育施設では行いません。制限を緩和して、皆さんの自由度を高め、地域の方がコミュニティ活動に使ってもらえるような館として、今までと同様に使えるようにしたいという思いです。ただし、当面の取り扱いとしては、コミュニティ施設という位置付けではなく、市役所の普通財産として市民の皆さんに使っていただきます。出資者である皆さんの財産の管理を市役所がしているだけです。それを減らすことは考えていないので、安心していただきたいと思ひます。

参加者 無料か、有料かという話もありましたが、どうなるのでしょうか。

市 長 利用料に関しては、公民館も分館の場合も、登録団体の多くは減免でしたが、公民館の減免をなくしたので負担していただきます。高いか安いかは個人的な感覚ではありますが、数百円の利用料でもお支払いいただきます。施設を使用しない方の税金を使って維持をしていることを考えると、お支払いいただく利用料では決して維持費には足りませんが、みんなで負担し合うのは大事だと思います。次の世代に負担を残さないようにという考え方で、昔のいい時代では何でも無料でしたが、少しずつでもみんなで負担をし合い、将来に夢のある子どもたちへの負担を減らしたいと思っています。

参加者 市役所の業務のD Xというのは具体的にどういった取組がありますか。

市 長 介護や子育ての分野で申請をオンラインでできるようにし、昨年からはコンビニで住民票等を取得できるようにしました。また、市役所内部の業務効率化として、固定資産の評価における機械化と、A Iでの判断を導入しました。保育所の入所選考における優先度の高さなどA Iを用いて判断するなど、今年度からD Xについて、強化していく取組を進めています。

参加者 先日の会長宛てのアンケートは手書きで書いて返送してくださいという内容で、D Xを進めていると言われても、ちょっと合っていないと感じました。

市 長 アンケートも順次デジタル化を進めています。市の後期基本計画のアンケートはウェブでも回答できるようにしましたが、ウェブでの回答は400名程度でした。市民の皆さんの中にもデジタルでやってほしいという方と、対応しきれないという方がいて、対応がなかなか難しく、併用していくというのも一つの手段かと思います。

参加者 ふじみ野市の年齢の構成はどうなっていますか。

市 長 手元に正確な資料はないんですが、65歳以上の高齢化率が約2

5%になっています。国や県では26～27%のような高いパーセンテージです。比較的、現役世代と言われるような年代の人たちが転入していただいています。大体子どもたちの世代でいくと、1学年に千人くらいなので、例えば15、16歳までで1万6千人ぐらいいらっしゃいます。

参加者 若い世代の方が多いので、デジタル化を進めた方がいいのではないのでしょうか。

市長 そうすると65歳以上の方が2万9千人ぐらい、「1つの小さな町の人口分」の人の多くが対応できなくなる可能性があります。

参加者 そうであれば、継続的にやっつけていかないと移行はできないと思います。ぜひ進めていただきたいです。

市長 デジタルとアナログを並行していくと、行政側としては手間になる部分があり、効果的に進める方策を練っていくことが大事だと思っています。ふじみ野市は、国の持続化給付金などを受け取る申請時に、ウェブで対応できない人に対して、説明するよりも代わりに申請のお手伝いをした方が早いという発想で、サポート窓口を設置しました。サポート窓口を作ったのは恐らく全国で一番先駆けだと思いますが、これが現在の状況ですので、色々な工夫をして、対応できるようなサポートをしながら、全体のDXの推進につなげていきたいと思っています。